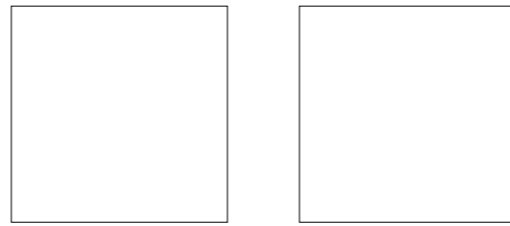


## タケシール#101カラー

### 性状

種類	A 液	B 液
外 観	淡黄色透明 粘調液体	標準色2色 着色粘調液体
不揮発分 (%)	100	100
比 重 (20/20℃)	1.0	1.3
粘 度 (Pa·s/20℃)	65±5	50±5
配 合 比 (重量比)	100	100



グレイ

グリーン

### 塗膜物性

試験項目=JIS A 6021 ウレタン系1類規格。		タケシール#101の試験値
硬度	(JIS A)	55~65
引張強度	(kg f/c m <sup>2</sup> ) 25以上	42.5
破断時の伸び率	(%) 450以上	633
抗張積	(kg f/cm) 300以上	540
引裂き強度	(kg f/cm) 15以上	21.4
加熱時の伸縮	(%) 伸び=1以下 縮み=4以下	0 0.6
伸び時の劣化		
加熱劣化	80℃/168時間	異常なし
紫外線劣化	サンシャインウェザーメーターによる。 250時間/温度61±2℃照射	異常なし
オゾン劣化	オゾン・ウェザーメーターによる。 168時間照射	異常なし
下地の亀裂に対する抵抗性試験	クロスを入れないもの	合格
	クロスを入れたもの	合格
下地に対する接着強度試験	気乾下地	10.1 (kg f/c m <sup>2</sup> )
	湿潤下地	9.0 (kg f/c m <sup>2</sup> )
耐 摩 耗 性 試 験	米国 ASTM 規格 CS-17 1000回転×(500g×2)	131mg

20171108

# タケシール


## #101カラー

# 防水

JIS A-6021 ウレタン系1類規格適合品

屋上・ベランダ

弾性ウレタン防水材

 竹林化学工業株式会社

## タケシール#101カラーは、

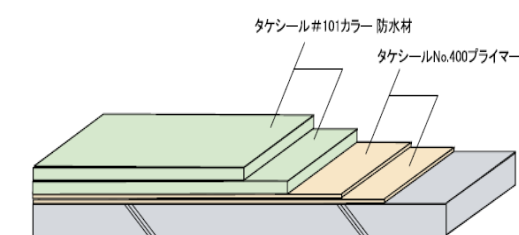
屋根用塗膜防水材 JIS A 6 0 2 1 ウレタンゴム系 1 類規格に適合した無溶剤ポリウレタン 2 液混合型防水材です。

タケシールウレタン防水材のシリーズの内でも軽歩行面に適し耐磨耗性に優れます。

ポリウレタン特有の軽量で強靱、しかも、気温の変化に左右されない安定した弾力伸縮性は、建物を雨水の浸入から守る防水塗膜としての下地追従性と、ソフトな歩行感を併せ持ちます。

<b>用途</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベランダおよびバラベットの防水</li> <li>屋上防水</li> <li>屋外廊下および通路</li> </ul>	当商品を塗布する前には、下地処理と下塗り（プライマー塗布）が必要です。 下地の種類や、状態によって最適の下塗り材料をご使用ください。 上塗り材（トップコート）仕上げで、さらに耐久性と美しさを長く維持します。
--	---

## タケシール#101カラー施工略図（下地モルタル面として・晴天時気温 20℃の場合）



【立上部はたれ止めをご使用下さい。】

### 【タケシールC1-O工法】

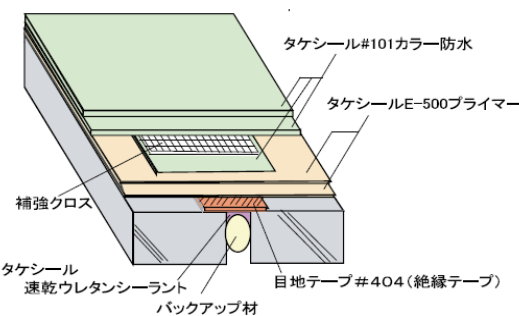
工程		塗布量	塗装間隔
①	タケシールNo.400 プライマー※1	0.3 (kg/m <sup>2</sup> )	1 時間後
②	タケシールNo.400 プライマー	0.2	2~3 時間後
③	タケシール#101 カラー	1.0	24 時間後
④	タケシール#101 カラー	1.0	24 時間後 軽歩行可能

### 【タケシールC2-O3工法】

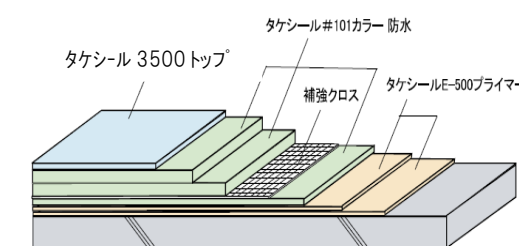
工程		塗布量	塗装間隔
①	タケシール E-500 プライマー※2	0.3 (kg/m <sup>2</sup> )	2 時間後
②	タケシール E-500 プライマー	0.2	2~3 時間後
③	(目地部) タケシール#101 カラー 補強クロス貼り付け	0.3	直ちに
④	タケシール#101 カラー	1.0	24 時間後
⑤	タケシール#101 カラー	1.0	24 時間後
⑥	タケシール#3500 トップ	0.15~0.2	養生時間 7 時間以上

### 【タケシールC3-O3工法】

工程		塗布量	塗装間隔
①	タケシール E-500 プライマー※2	0.3 (kg/m <sup>2</sup> )	1 時間後
②	タケシール E-500 プライマー	0.2	2~3 時間後
③	(全面) タケシール#101 カラー 補強クロス貼り付け	0.3	直ちに
④	タケシール#101 カラー	1.4	24 時間後
⑤	タケシール#101 カラー	1.3	24 時間後
⑥	タケシール#3500 トップ	0.15~0.2	養生時間 7 時間以上



【立上部はたれ止めをご使用下さい。】



【立上部は C4-03T 立上り工法】

## ウレタン防水関連材料

品名	用途	仕立
タケシールNo.400 プライマー	一般モルタル面用/塗り重ね用	15 kg 7 kg 3.5 kg
タケシール E-500 プライマー	一般モルタル面用 (強接着) / 金属面用	16 kg組 8 kg組 4 kg組
タケシール AE-211 プライマー	一般モルタル面用 (水系低臭強接着) 金属面用	8 kg組 2 kg組
タケシール 塩ビシート用プライマー	塩ビシート防水面用	15kg 3.5kg
タケシール 1 液 NE O プラス グレイ	一般屋上用 (#101 よりやや軟質)	18 kg 10 kg
補強クロス	補強材一般防水用 (軟質一般)	100 cm巾 15 cm巾 50m 巻
タケシール#3500 トップ注1)	保護材/軽歩行用 (高光沢 2 液アクリルウレタン)	14 kg組 3 kg組
タケシール S S トップ	保護材/軽歩行用 (高光沢水性 2 液アクリルウレタン)	11 kg組 3.3kg組
タケトップ注2) 注3)	保護材/軽歩行用 (1 液水系ノンスリップ仕上り)	20 kg 5 kg
タケトップ遮熱 白/グレイ	保護材/非歩行用 (1 液水系遮熱アクリル平滑仕上り)	20 kg 4 kg
P トップ N シルバー注3)	保護材/非歩行用 (水系アクリル平滑仕上り)	15 kg 5 kg
P トップ N カラー注2) 注3)	保護材/非歩行用 (水系アクリル平滑仕上り)	15 kg 5 kg

注1) 常備色グレイ/グリーン

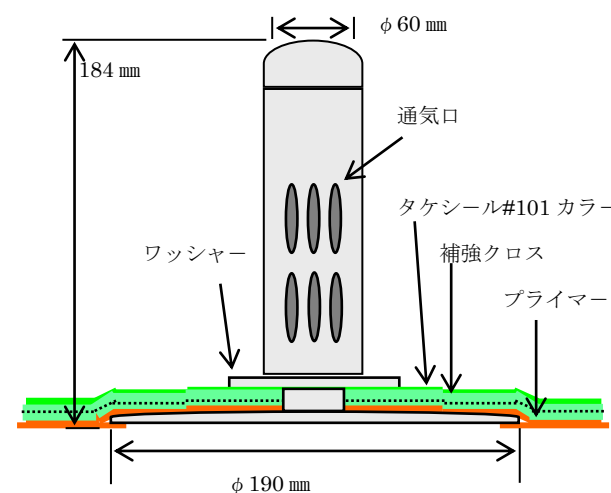
注2) 注2) 常備色グレイ/グリーン

注3) 新設のウレタン防水材に塗布する場合屋外暴露で7~10日後もしくはタケシールNo.400プライマーを塗布 (0.1 kg/m<sup>2</sup>) 乾燥硬化後塗布願います。

## 特殊工法関連材料 (使用条件について、よくご相談の上、御検討ください。)

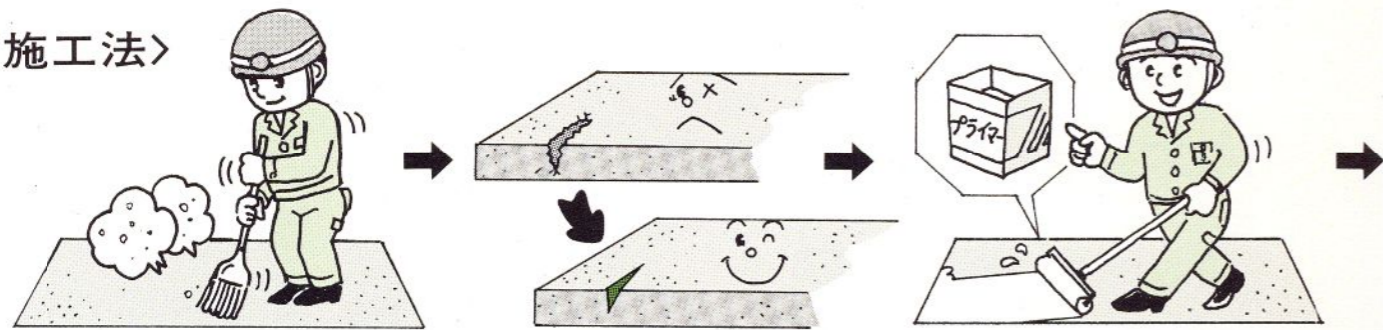
脱気筒	フレ防止用脱気装置 (下図参照)	1 個より
タケモル EV	下地調整材 (タケモルフィラー用モルタル混和剤)	18kg 4kg
タケモルフィラー-A-1	防水下地用 (薄付け用フィラー)	20 kg
タケモルフィラー-A-2	不陸調整用 (厚付け用フィラー)	20kg

### 〈 脱気筒 〉



脱気筒の場合 5.0~7.5 m<sup>2</sup>毎に 1 基取り付けて下さい。

＜施工法＞



下地の清掃

下地亀裂をシーリング材等で補修

2回以上十分に塗布



十分に攪拌

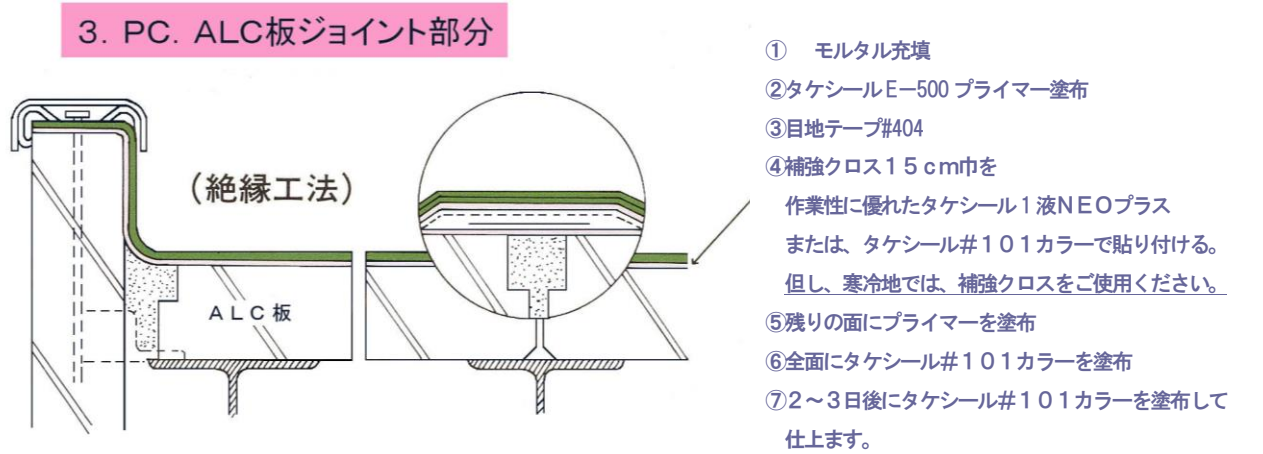
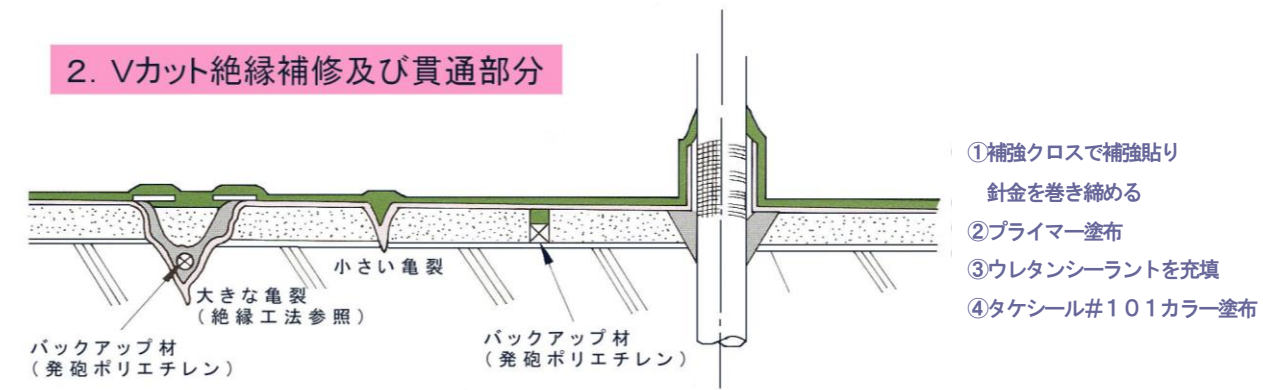
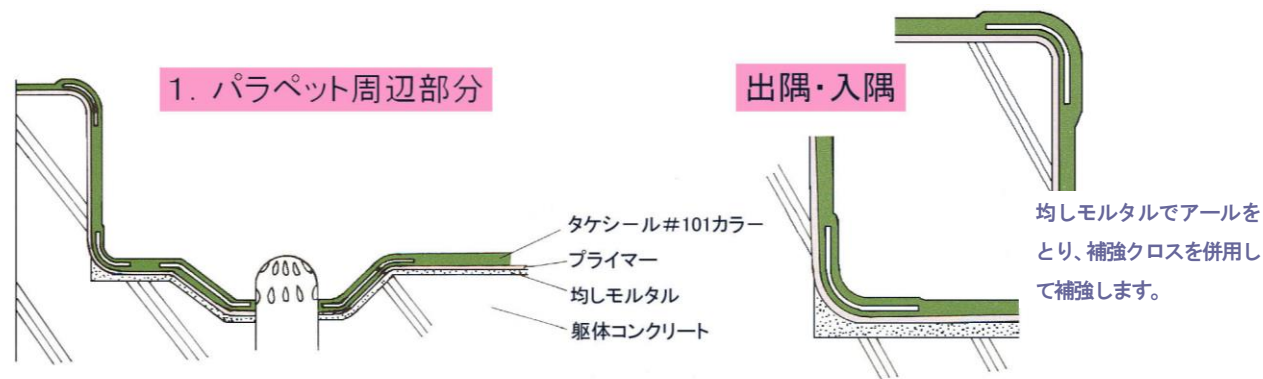
標準塗布量以上で、均一に塗布

少量のときは、重量比で正確な計量を!

下地	前処理	プライマーの塗布 (下地がモルタルの場合)
<p>・モルタル面は凹凸、針金、小石などの突起物がないように平滑にしてください。</p> <p>・新設モルタルに施工する場合は、表面が白く乾燥してからレイタンスを除去後にしてください。</p> <p>・出隅、入隅部分の施工は均しモルタルでアールをとり、補強クロスで補強します。</p> <p>・水勾配の手直しをします。</p> <p>・金属面の旧塗料及び錆はペーパー、ワイヤーブラシで取り除きます。</p> <p>・ALC板の場合は絶縁工法にて施工して下さい。</p> <p>・古い防水塗膜に塗り重ねる時は御相談下さい。旧防水層がピッチ、タール類の場合はタケシール#101の使用を避けて下さい。この場合はタケトップ仕上げになります。</p> <p>・FRP防水に塗り重ねる時は、表面をサンダー等で目荒らしをして清掃後、#400 プライマーを約0.2kg/m<sup>2</sup>塗布し、硬化乾燥してから#101 を塗布して下さい。亀裂箇所は、絶縁工法(5ページ目 施工略図参照)に準じて処理します。</p>	<p>・荒れた下地は、浮き砂を除去した後、樹脂セメント(タケモル EV+タケモルフィラーA-1)で整えます。</p> <p>・大きい亀裂の前処理は、プライマーを塗布します。充填材の深さを調節するため、バックアップ材を入れてからウレタンシーラントを充填します。等巾の布製ガムテープを貼り絶縁の上、補強クロスを作業性に優れたタケシール1液NEOプラスまたは、タケシール#101で貼り付けます。</p> <p>・目地の前処理は、大きい亀裂の前処理と同じ要領で行います。</p> <p>・下地の凹み処理は、樹脂セメント(タケモルカチオン EV+タケモルフィラーA-2)で平滑に整えます。</p> <p>・貫通部分の処理は、耐水性の強いE-500 プライマーまたは、樹脂セメント(タケモル EV+タケモルフィラーA-1)を塗布します。(金属・塩ビ配管)</p>	<p style="text-align: right;">火気厳禁</p> <p>・タケシールプライマーは必ず2-3回塗りして下さい。ハケ、ローラーハケ等でタツプリと塗り残しのないように入念に塗布して下さい。下地の小孔等を塗り残しますとタケシール#101 カラー塗布時、ピンホールの原因になります。</p> <p><b>#400 プライマー (1液速乾型)</b> 塗布要領 (標準塗布量0.5kg以上/m<sup>2</sup>)</p> <p>1回目 塗布量約0.3kg以上モルタル面に充分浸透させて下さい。</p> <p>2回目 約1時間後36時間以内充分に硬化乾燥後塗布塗布量約0.2kg以上約2時間後、塗布面が濡れ色であればタケシールを上塗りして下さい。</p> <p>◎特に吸い込みのはげしい下地にはプライマーにセメント粉を(重量比約1:1)混ぜてもう一度塗り込んで下さい。</p> <p>◎一度開封されたものはなるべく早く使い切して下さい。</p> <p><b>E-500 プライマー (2液溶剤系 油性強接着プライマー)</b> 配合比 1:4 塗布要領 (標準塗布量0.5kg以上/m<sup>2</sup>)</p> <p>1回目 E-500A/B 混合液にNo.100 シンナーを約30%加えてよく浸透する様充分に塗布します。0.3kg/m<sup>2</sup></p> <p>2回目 約1時間経過後A/B 混合液を薄めないで、(原液のまま)べったりと塗り込んで下さい。0.3kg/m<sup>2</sup></p> <p>2~3時間後塗布面が濡れ色であればタケシール#101 カラーを上塗りして下さい。</p> <p><b>AE211 プライマー (2液水系 油性強接着プライマー)</b> 塗布要領 (標準塗布量0.3kg以上/m<sup>2</sup>) 配合比 1:1 (2時間以内に使いきる使用量のAB混合液をその都度作ってください。)</p> <p>1回目 A/B 混合液をよく浸透する様、充分に塗布します。0.15kg/m<sup>2</sup></p> <p>2回目 約2時間経過後A/B 混合液を再び塗布します。0.15kg/m<sup>2</sup></p> <p>3時間後塗布面が濡れ色で充分に硬化乾燥後、タケシール#101 カラーを上塗りして下さい。</p>

タケシール#101カラー防水	御注意
<p style="text-align: right;">火気厳禁</p> <p>標準塗布量 2kg/m<sup>2</sup> (国土交通省 共仕 3mm/m<sup>2</sup>=3.5kg/m<sup>2</sup>)</p> <p>・A液、B液は1:1の重量比です。充分に攪拌混合します。攪拌不足は硬化不良の原因になります。 タケシール#101 カラーは仕立がA液8kg、B液8kgになっています。まずB液の中味をよく攪拌し、均一にしてからA液をB液の容器に入れ攪拌機で約3分間、容器の隅々まで充分に混合します。</p> <p>・よく混合された液の可使時間は次の通りです。 25℃/約25分      20℃/約30分 夏季の屋上は約15分位になります。 2回仕上げの時は流動性の充分ある間に塗布量1kg/m<sup>2</sup>を一気に塗りあげます。2~3日後上記同様の施工で表面を整えます。1回仕上げの時は2kg/m<sup>2</sup>で施工します。</p> <p>・水平面施工の際は混合時にタケシールNo.100 シンナーを約5%以内添加しますと作業が容易になります。 <b>シンナーの入れ過ぎ、途中の添加は亀裂の原因になりますので絶対にやめて下さい。</b></p> <p>・立上り、出隅部分は膜厚がうすくなりがちです。たれ止め剤・補強材を使って増し塗りして下さい。</p> <p>◎攪拌機は、用途に適した機種を御使用下さい。回転又はアンペアの低い攪拌機での使用は、攪拌不足(硬化不良)の原因になります。</p> <p>◎少量を小分けする場合は、A液と、あらかじめ攪拌し中味が均一になったB液を重量計で正確に計量し、充分に手早く攪拌混合して下さい。</p> <p>◎さらに、トップコートで仕上げると、汚れにくく耐久性がより一層向上します。 塗布後、軽歩行が可能にまで硬化していれば、(気温20℃晴天時24時間後)タケシール#3500 トップ(混合重量比1:1)または、3~4日後タケシールAQ 層間プライマーAを塗布後タケシールSSトップ仕上げが可能です。</p>	<p>・プライマー、タケシール#101カラー塗布の際、<b>火気に御注意下さい。</b></p> <p>・ラッカーシンナー、塗料用シンナーは絶対使用しないで下さい。</p> <p>・夏季の屋上施工はなるべく炎天を避け、早朝又は、夕方に行います。</p> <p>・多雪・寒冷地での施工には、E-500プライマーまたは、AE211プライマーを使用し、補強材として補強クロスを併用して下さい。</p> <p>・筋目ゴムヘラ タケシール#101カラー塗布時、塗膜厚を均一にする為に考え出されたものです。 筋目ゴムベラ中 約1mm厚以上2回仕上げ用</p> <p>幅250mm高さ135mm 耐油ゴム</p> <p>使用法 タケシールA:B混合液を塗布面に適量流し出し、(手の届く範囲の量)筋目ゴムベラで軽く、かきならし、刷毛・ローラー・スポンジコテ等で表面を整えます。</p> <p>・仕立 タケシール#101カラー (色 グレイ・グリーン) 16kgセット (A液8kg・B液8kg) 塗布面積 約8m<sup>2</sup> 8kgセット (A液4kg・B液4kg) 塗布面積 約4m<sup>2</sup></p> <p>・トップコート仕上げ (色 グレイ・グリーンその他) タケシール#3500 トップ 14kg組 塗布面積約70~80m<sup>2</sup> (2液溶剤系アクリルウレタントップコート 軽歩行・一般歩行用) タケシールSSトップ 11kg組 塗布面積約70~90m<sup>2</sup> (2液水系アクリルウレタントップコート 軽歩行・一般歩行用) 各、詳細は7ページ目ウレタン防水関連材料又は、カタログをご覧ください。</p>

# タケシール#101カラー施工略図

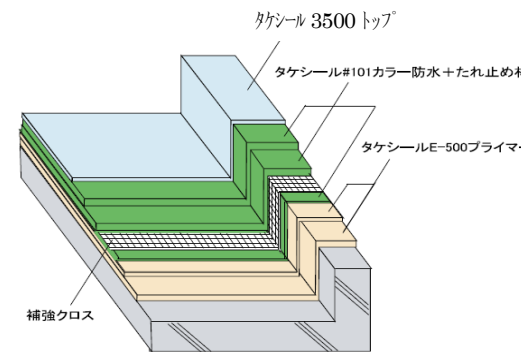
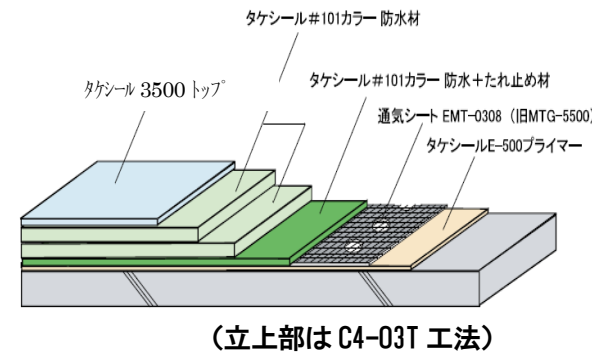
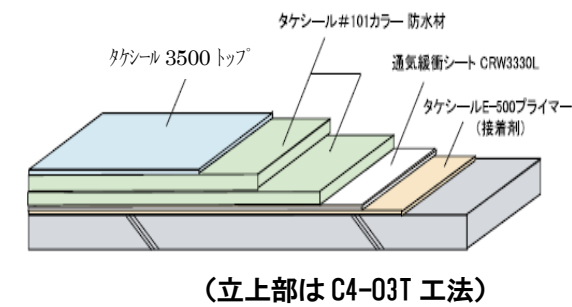
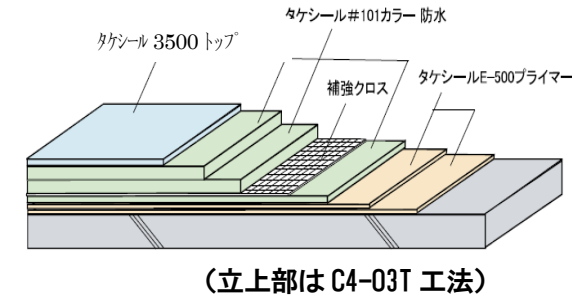


## 可使時間と軽歩行可能時間 (下記の時間は晴天時日中の気温を目安に)

	10℃ [冬季] (硬化促進剤添加時)	25℃ [春秋季]	35℃ [夏季]
可使時間	50分 (30分 <sup>注1</sup> )	25分	15分
軽歩行可能時間	36時間 (16時間 <sup>注1</sup> )	24時間	16時間
室外機等設置可能日数	5日 (3日 <sup>注1</sup> )	3日	2日

(注1) タケシール#101専用硬化促進剤80g1つをタケシール#101カラー16kgセットに使用混合時に添加した場合日差しの当る屋上・ベランダで作業の場合は、添加量を半分以下に調整願います。

季節使用前には、直射日光を避け、当商品を涼しい状態で保管してください。  
日中の炎天直下に置いた場合、内容物が高温になって可使時間が確保できずに硬化してしまう場合がございます。  
保管する場合は、直射日光の当たらない場所もしくは、養生シートで覆う等、内容物の温度が高くならないよう配慮願います。



### 【タケシールC4-03工法】

国土交通省「建築工事仕様(平成13年度版)X-2工法

工程		塗布量	塗装間隔
①	タケシールE-500 プライマー※2	0.3(kg/m <sup>2</sup> )	2~3時間後
②	タケシールE-500 プライマー	0.2	2~3時間後
③	(全面)タケシール#101カラー 補強クロス貼り付け	0.3	直ちに
④	タケシール#101カラー	1.75	24時間後
⑤	タケシール#101カラー	1.4	24時間後
⑥	タケシール#3500トップ	0.15~0.2	養生時間 7時間以上

### 【タケシールC7-03工法】通気緩衝工法

国土交通省「建築工事仕様(平成13年度版)X-1工法

工程		塗布量	塗装間隔
①	タケシールE-500 プライマー 通気緩衝シート (CRW3330L)	0.3(kg/m <sup>2</sup> )	約4時間後(完全 硬化前にシート貼る)
②	ダモステン脱気筒	個/30-50m <sup>2</sup>	直ちに
③	タケシール#101カラー	1.75	24時間後
④	タケシール#101カラー	1.7	24時間後
⑤	タケシール#3500トップ	0.15~0.2	養生時間 7時間以上

### 【タケシールC7M-03工法】通気緩衝工法

工程		塗布量	塗装間隔
①	タケシールE-500 プライマー	0.3(kg/m <sup>2</sup> )	2時間後
②	通気緩衝シート EMT-0308	0.4	直ちに
③	ダモステン脱気筒	個/30-50m <sup>2</sup>	直ちに
④	タケシール#101カラー+たれ止め(目止め)	0.85	24時間後
⑤	タケシール#101カラー	1.3	24時間後
⑥	タケシール#101カラー	1.3	24時間後
⑦	タケシール#3500トップ	0.15~0.2	養生時間 7時間以上

### 【タケシールC4-03T工法】

工程		塗布量	塗装間隔
①	タケシールE-500 プライマー※2	0.3(kg/m <sup>2</sup> )	1時間後
②	タケシールE-500 プライマー	0.2	2~3時間後
③	(全面)タケシール#101カラー+たれ止め 補強クロス貼り付け	0.3	直ちに
④	タケシール#101カラー+たれ止め	1.0	24時間後
⑤	タケシール#101カラー+たれ止め	1.0	24時間後
⑥	タケシール#3500トップ	0.15~0.2	養生時間 7時間以上

※1 下塗り材は記載商品以外に、タケシールE-500プライマー・タケシールAE-211プライマーも使用可能です。  
※2 タケシールE-500プライマー塗布1回目はタケシールNo.100シナーで30%希釈した塗布液を下地にしみ込ませる様に塗布して下さい。  
各工法につきまして詳しくは、お問い合わせ下さい。